

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことば療育ルームいろは		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 6日		～ 令和8年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	93	(回答者数) 75
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 30日		～ 令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個性性の高い支援を提供できる	有資格者(言語聴覚士・作業療法士・理学療法士・保育士・教諭)を多く配置し、基本的に1対1の個別療育を実施している。	職員全員が統一した支援ができるよう、評価や課題をマニュアル化している。
2	専門性の高い療育を提供できる	フォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメントを偏りなく行い、目標を明確にしている。また、目標に合わせたオーダーメイドの課題を実施している。	専門分野の知識や技術を向上できるよう、定期的な研修を継続し、モニタリングや個別支援会議以外の場で、多職種の意見交換を積極的に行う機会を設ける。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会の少なさ	複数の枠で個別の療育を実施していることにより、皆様へ家族支援プログラムの時間を確保し実施することが難しい。	ご家族が療育を体験・参加できる日を設け、関わり方などを伝える機会を設ける。
2	非常災害に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練についての周知の甘さ	必要な訓練に関しては、定期的実施していたが十分に周知ができていなかった。	現在のInstagramでの発信だけでなく、LINE等も活用しながら、周知に努める。
3			